

CeFIL インターンシップ

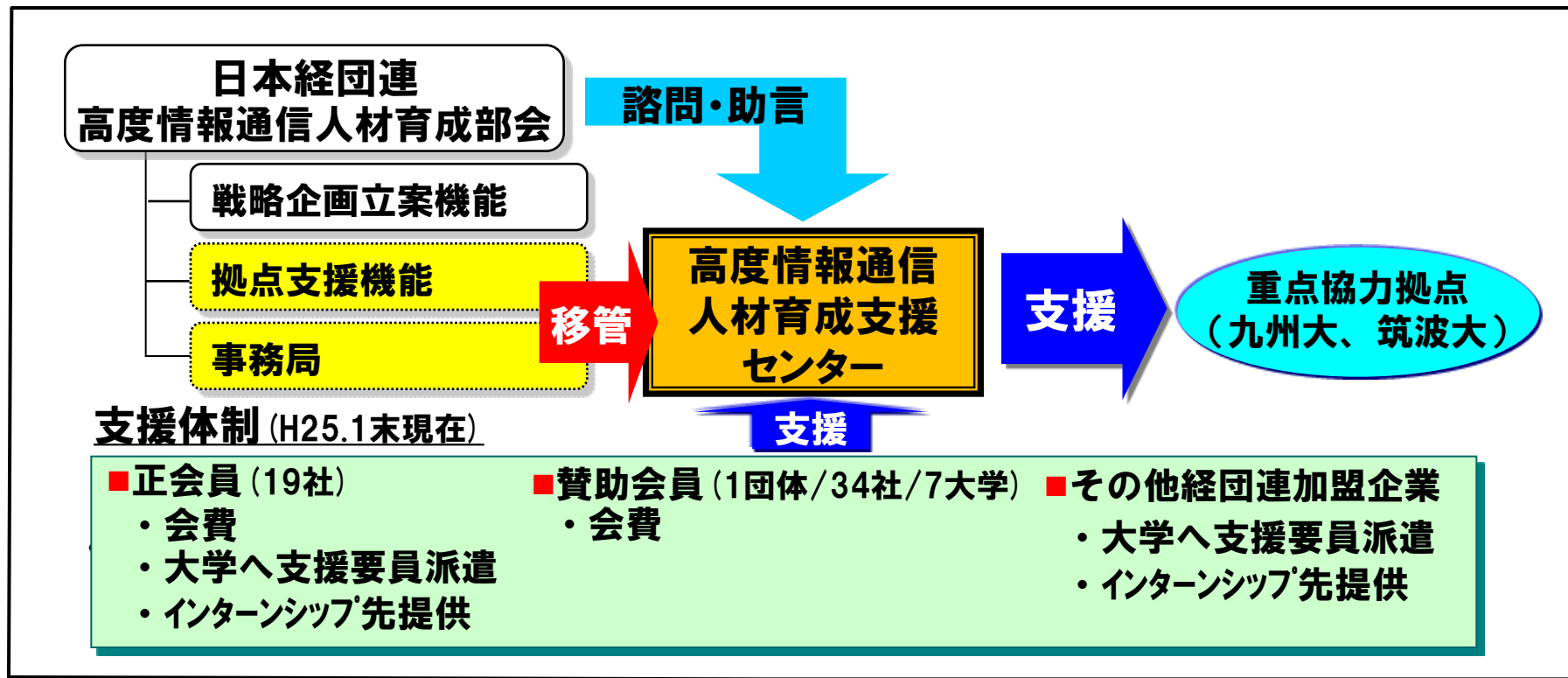
－ 実績と今後の活動 －

2013年2月6日

NPO法人 高度情報通信人材育成支援センター
辰巳 敬三

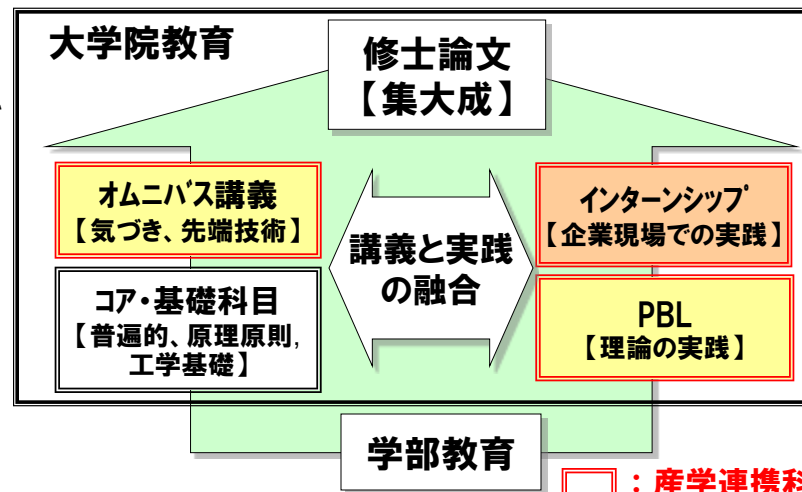
- 高度情報通信人材育成支援センター(CeFIL)
- CeFILインターンシップ
 - 位置づけ
 - 運営の特徴
- 経団連/CeFILインターンシップ運営実績
- アンケート結果
 - 満足度、スキル充足度、積極性、教育効果、企業側の受け入れスタンス
- その他の成果
- 今後の取り組み - CeFILインターンシップ制度改定

- 日本経団連の産学官連携による高度ICT人材育成支援活動の実行機能を引き継ぐ組織として2009年7月に有志企業が設立
 - 2006年4月 高度ICT人材育成の重点協力拠点を決定(筑波大、九州大)
 - 2007年4月 重点協力拠点コース開講(大学院修士課程)
 - 2009年7月 有志企業でCeFILを設立し支援活動を引き継ぎ



重点協力拠点の支援

- 社会ニーズに応える実践重視カリキュラムを産学共同で策定
- 産業界の一線級技術者の派遣
- 中長期インターンシップ受け入れ
- 企業幹部や技術者との交流機会の提供



CeFIL インターンシップ

- 社会での実際の仕事で求められるレベルの高さや進め方を実感し、学内で培った技術力や自らの考えの不足を認識して以降の学習意欲を高める

	タイプ	例	期間
1	実践/共同研究型	戦力として参画	6ヶ月～1年
2	実践研修型	指導を受けながら実務の一部を担う	1～3ヶ月
3	見学・体験型	用意した内容を体験	2週間程度
S	海外研修	テーマをもった研修	3ヶ月以上

← 検討課題

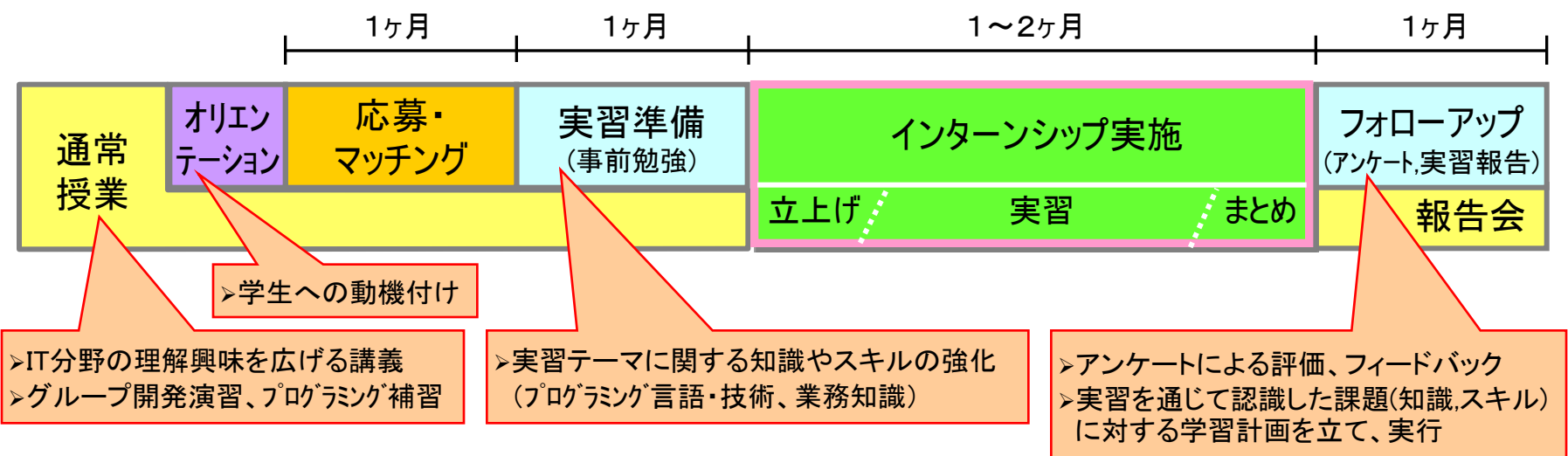
← **CeFIL インターンシップ**

← 従来の就業体験型

← **CeFIL インターンシップ 拡大 (今後)**

■ インターンシップの運営(CeFILが全体プロセスをコーディネート)

実施時期、 期間	<ul style="list-style-type: none"> ■ 学期中の負荷と地理的制約のため、夏季休暇を利用 ■ 実習期間は1~2ヶ月
受入業務	<ul style="list-style-type: none"> ■ 従来の職業体験ではなく、ソフト開発や検証といった実業務の一部にチームの一員として従事させる
受入プロセス、 環境	<ul style="list-style-type: none"> ■ オリエンテーション、事前勉強、フォローアップを含むプロセスの整備 ■ エントリーシステムによる応募・マッチング ■ 滞在費・交通費などを企業側が負担
交流機会提供	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多くの学生の首都圏滞在機会を利用し合同フォーラムを開催



経団連/CeFILインターンシップ運営実績

■ 6年間で累計334名を受け入れ

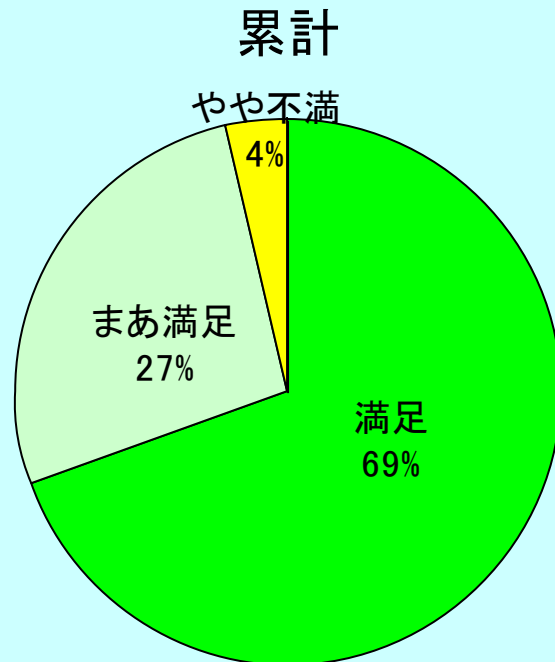
		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
産業界の協力規模 (*1)	企業数	26社	28社	21社	26社	30社	32社
	テーマ数 (60人枠)	50テーマ (60人枠)	104テーマ (128人枠)	70テーマ (84人枠)	94テーマ (103人枠)	105テーマ (129人枠)	83テーマ (100人枠)
参加大学 (*2)	大学数	3校	5校	3校	7校	7校	6校
	大学名	筑波大、九州大、 九工大	筑波大、九州大、 九工大、宮崎大、 福岡大	筑波大、九州大、 九工大	筑波大、九州大、 九工大、宮崎大、 福岡大、名古屋 大、愛媛大	筑波大、九州大、 九工大、福岡大、 名古屋大、愛媛 大、山口大	筑波大、九州大、 九工大、名古屋 大、愛媛大、山 口大
受入実績	企業数	18社	22社	15社	23社	19社	19社
	学生数	48名	55名	41名	69名	62名	59名
	平均日数	23日	24日	23日	25日	25日	24日
	最大日数	40日	41日	39日	36日	42日	36日
	実習場所	首都圏 4 東海 2 福岡 2 近畿 1 海外(中国) 1	首都圏 4 東海 3 福岡 3 近畿 1 海外(インド) 1	首都圏 3 東海/北陸 1 福岡 2 近畿 2	首都圏 5 東海 5 福岡 10	首都圏 4 東海 3 福岡 1 福岡 1 広島 1	首都圏 4 東海 5 福岡 8 広島 1

(*1)九経団連様主催テーマを含む：〈2010年〉4社/6テーマ(7人枠)、〈2011年〉10社/14テーマ(19人枠)、〈2012年〉12社/17テーマ(20人枠)

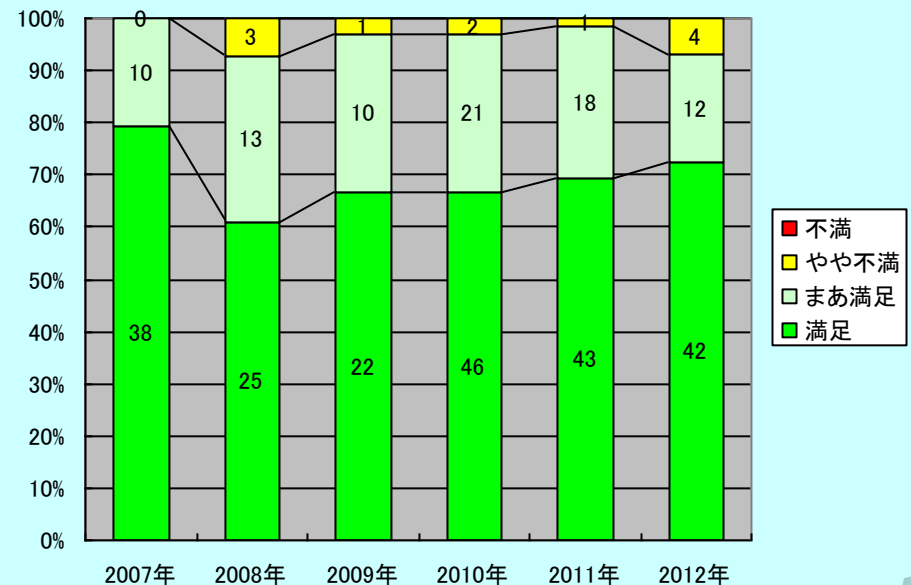
(*2)九経団連様インターンシップ参加大学数(外数)：〈2007～2009年〉1校、〈2010年〉2校、〈2011年〉3校、〈2012年〉5校

- 「満足」「まあ満足」が96%、全体的な満足度は高い
 - 「やや不満」は、指導者の繁忙で指導時間が少なくなったことなどが原因

全体の満足度(学生の評価)

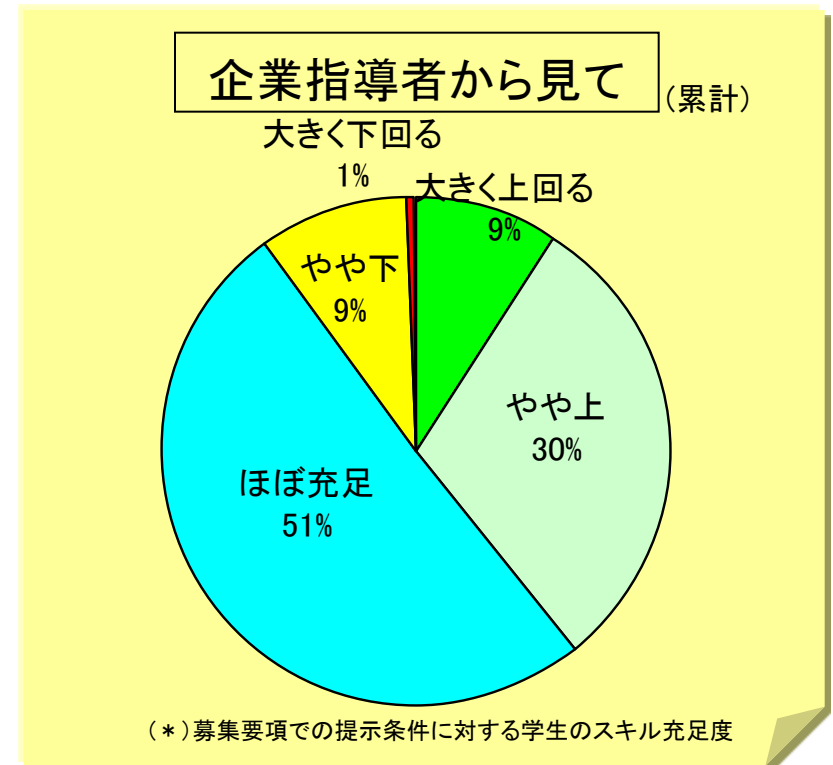
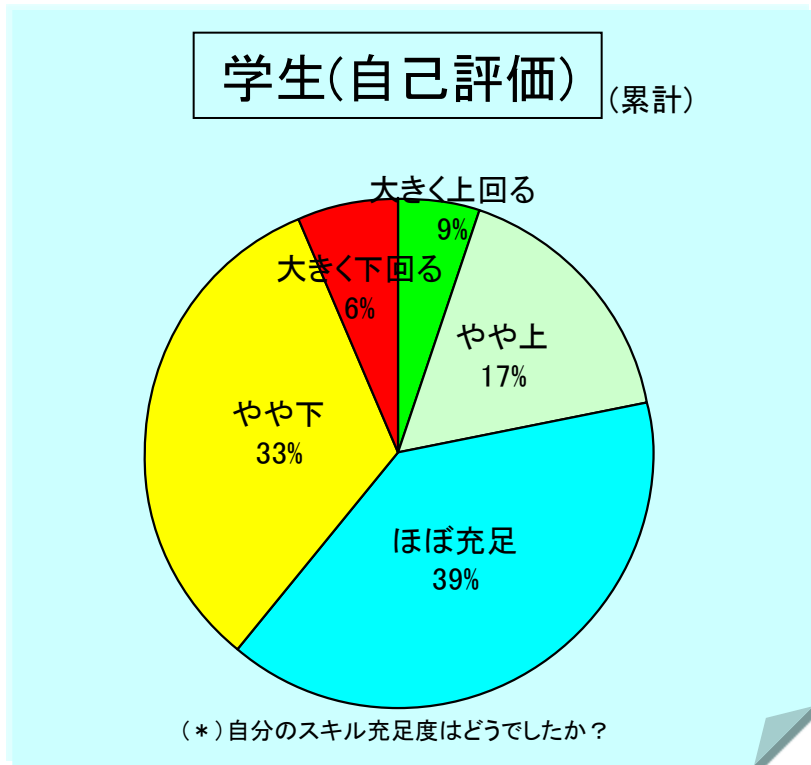


推移

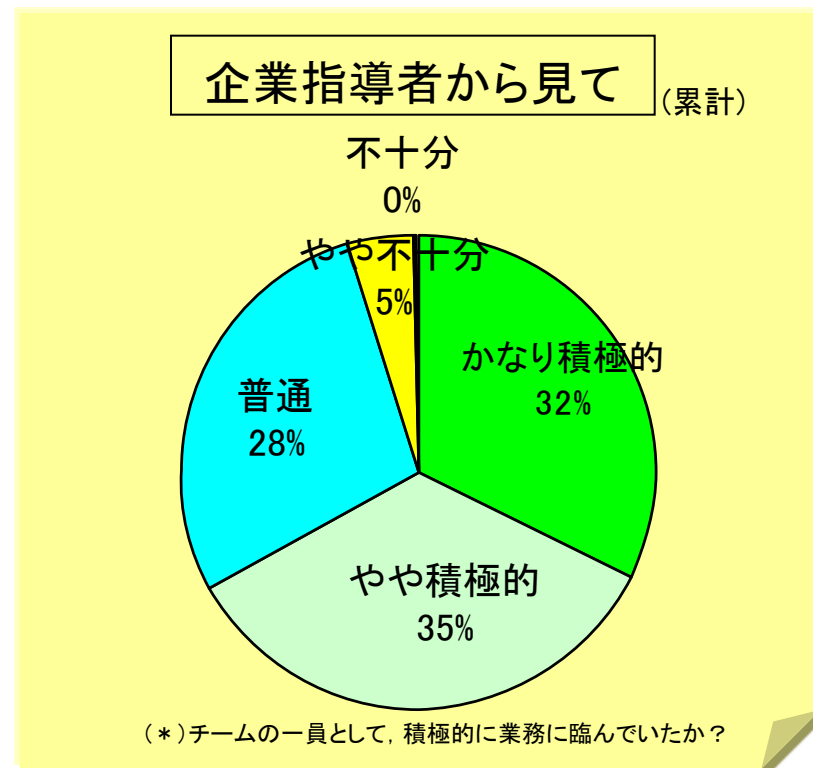
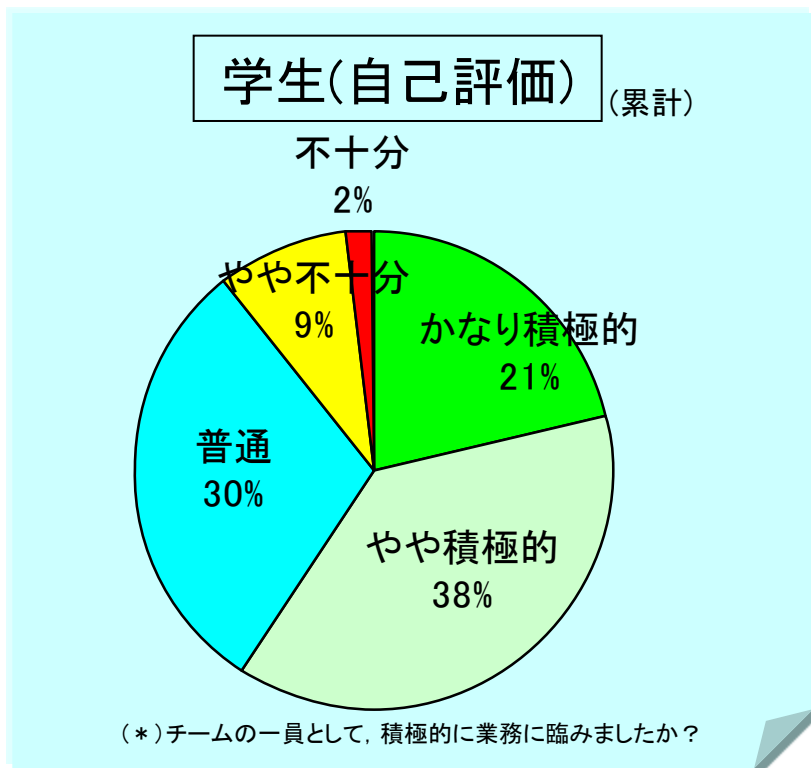


アンケート結果 - 学生のスキル充足度 -

- 企業指導者は、学生の90%はスキルは概ね充足しており、さらに40%は上回るとの評価
- 学生は自分自身のスキルの評価は企業指導者よりも厳しい(充足と回答した学生は65%)



- 参加学生はチームの一員として概ね積極的に取り組んでいる
 - 学生自己評価：かなり積極的(21%)、やや積極的(38%)
 - 企業側評価：かなり積極的(32%)、やや積極的(35%)



※2010年末に実施したアンケート結果より

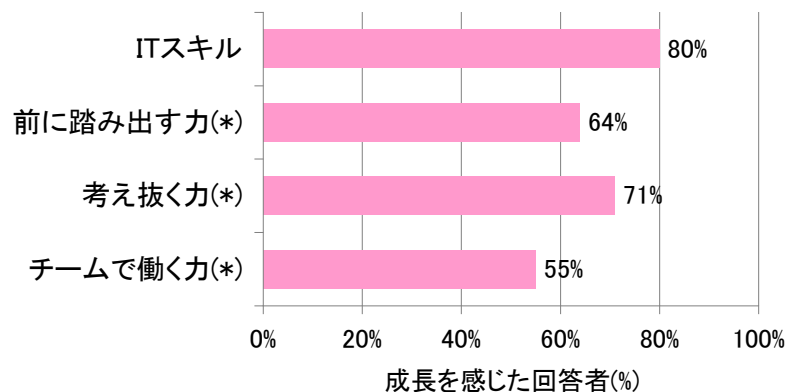
■ 他のインターンシップとの比較

- 他インターンシップ参加経験がある学生17名のうち15名は、実践的インターンシップ(CeFILインターンシップ)のほうが成長度合いは高まると回答

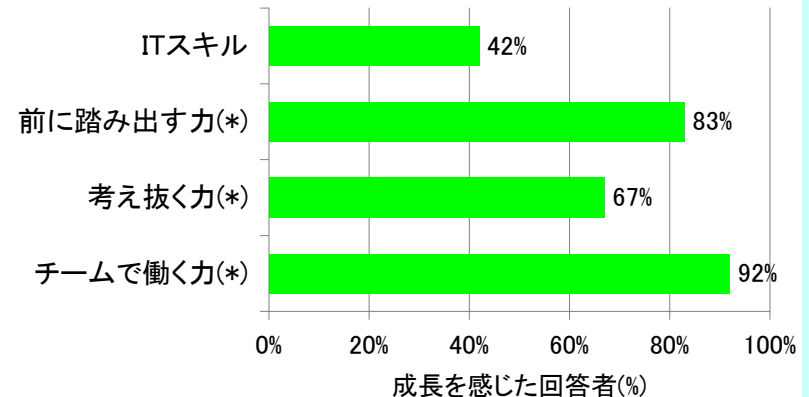
■ 実践的インターンシップで成長を感じた点

- 学生回答者55名全員が成長を感じたと回答
- どのような点が成長したと感じたか？

学生



大学教員から学生を見て



(*) 社会人基礎力 <http://www.meti.go.jp/policy/kisoryoku/index.htm>

- ・ 前に踏み出す力 … 主体性、働きかけ力、実行力
- ・ 考え抜く力 … 課題発見力、計画力、創造力
- ・ チームで働く力 … 発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

- CSR的スタンスから採用結び付けへの変化(欧米型の兆し?)
 - 採用への結び付けの意識が高くなった!?(2012年度は1位)
 - 米欧のような「実業務における戦力」の意識はまだ低い
- 「若手社員の指導力育成の機会」をメリットと捉える企業もある

受け入れスタンス(企業)

優先度:高(5)-低(1)

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
学生のスキルアップ	2.63	2.40	2.55	2.12	2.35
学生の学習意欲向上	3.55	3.38	3.28	2.96	3.31
業界/企業イメージのアップ	① 4.03	3.92	3.88	3.85	③ 3.38
優秀な学生の採用	③ 3.89	3.40	3.57	3.04	① 3.81
わが国の発展に貢献	② 3.94	4.08	3.70	3.42	② 3.54
実業務における戦力	2.23	2.68	1.58	1.38	1.04

- (*) 回答項目詳細
- ・学生のテクニカルなスキルアップを行うため(大学教育の支援)
 - ・学生個人の視野を広げ、学習意欲を向上させるため(大学教育の支援)
 - ・IT関連職の職業イメージを持ってもらうことによる業界/企業イメージのアップ
 - ・インターンシップを通じて優秀な学生の採用に結び付けていくため
 - ・経団連/CeFIL活動の趣旨に賛同し、会社/業界として、広くわが国の発展に貢献するため
 - ・実業務における戦力として

インターンシップ運営ノウハウの横展開、活用

- 経済産業省/IPA『IT人材育成強化加速事業(平成21、22年度)』
 - 実践的なインターンシップモデルの構築、検証のモデルとして活用
 - CeFILインターンシップの運営フロー、各種書式、エントリシステム など
- 九州経済連合会とのインターンシップ運営の連携
 - 九州地区での受け入れテーマの相互公開
 - エントリシステムの共同運営(スライド15参照)
- 経済産業省『中長期研究人材交流システム構築事業』(大学連携推進課) (※産学協働人材育成円卓会議のアクションプランの一環の事業)
 - 中長期研究インターンシップ検討会へのCeFIL事例の提供
 - CeFILインターンシップの概要、エントリシステムの仕様、開発規模などの情報を「オンラインシステム」の参考として提供(スライド14、15参照)

よりトップICT人材育成にふさわしいインターンシップへ

- インターンシップ参加基準(エントリー基準)の導入
 - 基本情報技術者試験：午前試験-60点以上、午後試験-70点以上
 - 単位取得済み科目：ソフトウェア開発工学、Java又はCプログラミング
 - 英語力：TOEIC-600点以上(TOEFLは換算)
- 海外インターンシップ制度の試行
 - 2013年度3名程度を選考、渡航費用など補助
 - 基本情報技術者試験：午前/午後試験ともに75点以上
 - 英語力：TOEIC-750点以上(TOEFLは換算)
- 募集対象校の拡大
 - CeFIL会員大学(現在7校)から同条件で参加学生を募集(従来、重点拠点校優先でエントリー受付)

今後とも、CeFILの活動、及びインターンシップ
受け入れへのご協力をよろしくお願いいたします。

■ 複数大学(学生)ー複数企業でのマッチング効率化

募集テーマ一覧(検索可)



募集要項



内容に対する問合せ画面



テーマ別の最新エントリー状況



エントリー画面(第三希望まで)



問合せ/回答履歴は
募集要項に自動追加され
全員が共有

最新状況を
見ながら
エントリーを
分散

人手で
割当調整し、
公開



■ CeFILインターンシップ・エントリーシステムの共同利用

